

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 笠岡 良雄 (尾原 勉)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 6)
------	-------------------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	道 路	事業名 (主)相生山崎線 緊急地方道路整備事業 Aタイプ	事業区間 宍粟郡山崎町 上比地～御名 1.62km	総事業費	約9.6億円 (うち用地補償 費5億円)
------	-----	---------------------------------------	------------------------------------	------	----------------------------

所在地 宍粟郡山崎町上比地～御名	着工予定年度 H14年度	完成予定年度 H18年度
---------------------	-----------------	-----------------

事業目的 本路線は、播磨科学公園都市と宍粟郡を結ぶ最短ルート of 主要地方道であるが、新宮・山崎町間が交通不能となっているため、この解消に向けてのルート検討を行っている。 本事業区間はこのうち、国見山で計画されている「自然活用型CSR施設」へのアクセス道路となる区間を先行的に整備するものである。	事業内容等 道路改良（バイパス） L = 1,620m W = 5.5 (11.25) m ; 2車線 + 片側歩道 交通量(台/日) : 計画 4,100 現況 -
---	---

評価視点	
(1)必要性 開かれた兵庫を築く道づくり 地域の発展を支える道づくり 安全・安心な道づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的には、交通不能区間が解消されれば、播磨科学公園都市と山崎ICを連結する道路として、地域間の連携や交流が図られる。 ・多様な森づくり、森と人とのふれあい回復など、森の文化を育むための全県的な拠点となる「エコ・キャンパス - しそうの森」へのメインアクセス道路として利用できる。 ・周辺集落の児童・生徒は歩道のない町道を通学路としているが、本事業により歩道が整備され通学の安全が確保されることとなる。
(2)有効性・効率性 有効性 代替性 効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民の生活幹線道路としてだけでなく、CSR施設のアクセス道路としても利用でき有効である。 ・将来的に長期計画として交通不能区間を整備する場合、現道ルートが中国横断自動車道と近接していることや地形的要因から技術的に改築が困難なこと等、総合的に判断すると本ルートが最適である。 ・CSR事業と一体的に整備することにより、円滑で効率的な事業執行が図れる。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法面は、周辺植生に配慮した緑化を行うこと等により環境への配慮を軽微にする。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・野外 CSR 施設は平成19年度の供用を目指しており、そのアクセス道路となる本事業も同時完成を図る必要があり、14年度の着手が必要である。

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。
-------	------	------	---------------------